

柳川市バランスシート

(平成19年3月31日現在)

借方

【資産の部】

1. 有形固定資産

(1) 総務費	41億7723万円
(2) 民生費	35億3389万円
(3) 衛生費	40億449万円
(4) 労働費	1億3517万円
(5) 農林水産業費	157億3481万円
(6) 商工費	9億348万円
(7) 土木費	207億5655万円
(8) 消防費	11億4893万円
(9) 教育費	253億8915万円
(10) その他	13億1082万円
計	770億9952万円
(うち土地)	124億5810万円
有形固定資産合計	770億9952万円
(住民一人当たり)	103万3021円

2. 投資等

(1) 投資及び出資金	30億4106万円
(2) 貸付金	1億37万円
(3) 基金	
①特定目的基金	60億630万円
②土地開発基金	6億8480万円
③定額運用基金	1700万円
基金計	67億810万円
投資等合計	98億4953万円
(住民一人当たり)	13万1969円

3. 流動資産

(1) 現金・預金	
①財政調整基金	33億434万円
②減債基金	4億9690万円
③歳計現金	6億1243万円
現金・預金計	44億1367万円
(2) 未収金	
①地方税	3億6242万円
②その他	1億3689万円
未集金計	4億9931万円
流動資産合計	49億1298万円
(住民一人当たり)	6万5,827円
資産合計	918億6203万円
(住民一人当たり)	123万817円

貸方

【負債の部】

1. 固定負債

(1) 地方債	311億5293万円
(2) 退職給与引当金	47億1798万円
固定負債合計	358億7091万円
(住民一人当たり)	48万618円

2. 流動負債

(1) 翌年度償還予定額	24億2864万円
(2) 退職手当組合積立金	2億4163万円
(不足分)	
流動負債合計	26億7027万円
(住民一人当たり)	3万5778円
負債合計	385億4118万円
(住民一人当たり)	51万6396円

【正味資産の部】

1. 国庫支出金	108億8544万円
2. 都道府県支出金	95億4818万円
3. 一般財源等	328億8723万円

正味資産合計 533億2085万円
(住民一人当たり71万4421円)

負債・正味資産合計 918億6203万円
(住民一人当たり123万817円)

※債務負担行為に係る補償等 ①物件の購入に係るもの 2億5155万円
②債務保証及び損失補償に係るもの 2億5200万円
③利子補給等に係るもの 17億7793万円

(注)住民1人当たりの金額は、バランスシートの金額を基準日の住民基本台帳人口7万4635人で割ったものです。

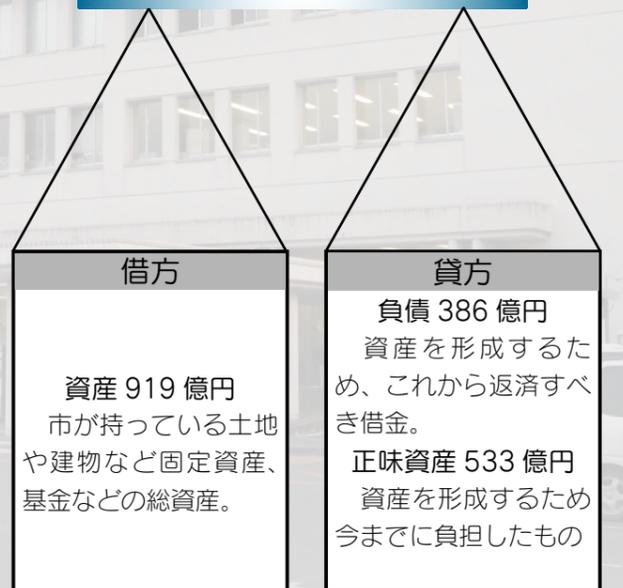
バランスシートでみる市の財政状況

バランスシート(貸借対照表)は、ある一定時点での資産や負債状況を表した報告書です。バランスシートを作成することで、税金などにより整備された資産の内容や、将来返済しなければならぬ負債、返済しなくてもよい正味資産に関する情報の把握が容易になります。

「資産」は市民の財産
バランスシートの中身を細かく見ていきましょう。
左側の「借方」にあたる「資産」の合計は919億円で、これは市民一人当たりすると123万円となっています。平成17年度と比べて13億円増加しました。

「負債」はこれからの負担
次に右側の「貸方」にあたる「負債」の合計は386億円で市民一人当たりすると52万円となっています。平成17年度と比べて10億円増加しました。

平成18年度末のバランスシート



「正味資産」はこれからの負担

次に、「正味資産」の合計は533億円で、市民一人当たり71万円となっています。平成17年度と比べて3億円増加しました。

①「国庫支出金・県支出金」とは、有形固定資産の形成に充てられた国・県支出金の累計額です。

②「一般財源」とは、資産と負債の差である正味資産から、国・県支出金を差し引いた額を計上したもので、329億円となっており、正味資産の62%を占めています。

③「流動負債」とは、基準日における市債残高のうち、平成19年度償還予定額と退職手当組合積立金の不足額を計上したものです。

国の基準に沿って作成

バランスシートの作成は、総務省の基準に沿って作成しました。対象とした会計の範囲は、普通会計とし、「一般会計」「住宅新築資金等特別会計」「公共用地先行取得等特別会計」を加えたものとなりました。作成基準日は平成19年3月31日現在

①「有形固定資産」とは、市が保有している土地、建物など771億円で資産の部の84%を占めています。算出方法は、資産形成に支出された事業費を積み上げ、土地以外の資産については減価償却を行いました。有形固定資産の中では、学校や道路、水路といった、教育・土木・農林水産業費が多くなっているのが特徴です。

②「投資等」とは、公益法人などへの出資金、貸付金、流動性の低い特定目的基金、土地開発基金、定額運用基金を計上したものです。

③「流動資産」とは、基金のうち流動性の高い財政調整基金、減債基金のほか、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳計現金、市税などの未収金を計上したものです。

決算に関する問い合わせは、市財政課(柳川庁舎、☎73・8111内線363)まで。

特別会計

国民健康保険特別会計 医療費総額は144億円

国民健康保険への加入者は、ほかの医療保険制度などに加入していない自営業や農漁業に従事している人などで構成されます。18年度は、市全人口の41・1%に当たる3万1228人(前年度より333人減少)、世帯数は全世帯の58・4%に当たる1万4027世帯(前年度より120世帯増加)が加入しました。

柳川市には、一般会計とは別立ての特別会計が6つあります。そのうち主な3つの決算をお知らせします。

18年度の決算は、歳入総額92億9939万円、歳出総額89億6959万円、差し引き3億2980万円の黒字となっておりますが、前年度からの繰越金を考慮すると、単年度では6128万円の赤字となっております。

歳入は国民健康保険加入者の保険税が、全体の24・3%に当たる22億5734万円と、33・5%に当たる国庫支出金31億1278万円が主なものです。歳出は、全体の67・9%に当たる保険給付費の60億9152万円と17・1%に当たる老人保健拠出金15億3798万円が主なものです。

18年度の医療費は、総額で143億8661万円(前年度から1.0%減)、1人当たりでは、約46万円(前年から0.1%増)となっております。

老人保健特別会計 前年度比4億7千万の減少

老人保健特別会計は、75歳以上の老年寄り、65歳から74歳までの人で、一定の要件を満たす障害を持つ人の医療費をまかなうものです。18年度の決算は、歳入総額87億4817万円、歳出総額1359万円

で、差し引き6542万円の赤字となっております。これは、歳入面で支払基金交付金などが、過去の医療費実績などに基づく推計によって概算交付されるのに対して、歳出面の医療費が上回ったためです。

なお、これらの不足金については、翌年度で精算交付されることになっております。

また、老人医療費は、対象者数の減少で前年度と比較すると歳出総額で3億7268万円の減額となっております。



水道事業平成19年度上半期 1日1人240リットルの水を使用

平成19年度上半期(平成19年4月1日～9月30日)の水道事業会計の業務状況についてお知らせします。

平成19年9月末現在の給水人口は7万1665人で、給水戸数が2万3545戸、1日最大給水量は2万498立方メートルです。収益的収支は、収入総額5億8573万円に対して、支出総額は5億1617万円で、差し引き純利益は6956万円です。

次に資本的収支は収入総額33万円、支出総額1億7916万円で、不足額1億7783万円は下半期に繰り越します。上半期の総給水量は315万1495立方メートルで、1日1人当たりの平均給水量は240リットルです。内訳は家事用79・3%、営業用11・7%、官公署学校用8.4%です。一方、料金調定総額は、6億294万円で、内訳は家事用75・8%、営業用13・5%、官公署学校用10・0%となります。



市総合美術展



▲写真・大賞「ファミリー」辻耕一



▲日本画・大賞「晩秋の風物詩」永尾義武



▲洋画・大賞「もしも願いが叶うなら」渡邊満

期間 11月4日(日)まで
時間 午前9時～午後6時
4日は午後5時まで
会場 市民体育館(入場無料)

柳川市総合美術展が11月4日まで開かれています。20回の節目となる今回は日本画、洋画、書道、写真の4部門に439点が出品。審査の結果、入賞40点、入選230点が決まりました。これらの作品とこれまでに(第16回～19回)の入賞作品を展示しています。入賞者は、次のとおり(敬称略)。

津、西村由利子(佐賀市)、鷹尾重徳(鷹ノ尾)、田中明代(筑紫町)
《書道部門》▽大賞 江崎公徳(鷹ノ尾)▽柳川市長賞 草場八重子(宮永町)▽柳川市教育委員会賞 藤木そよ子(有明町)▽柳川市文化協会賞 田口徹也(糟屋郡須恵町)▽福岡県美術協会賞 石橋ハルコ(大川市)▽奨励賞 吉山昌代(久留米市)、本園暁子(蒲生)、岩崎妙子(糟屋郡宇美町)、江上美代子(柳町)、下川育子(筑後市)

▲写真・市長賞



「厳寒の朝」長田敦子



▲日本画・市長賞

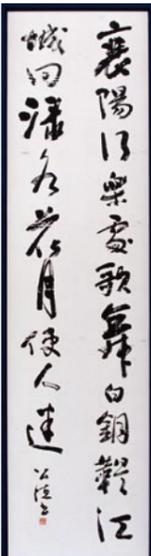
「夏香」近藤桂子



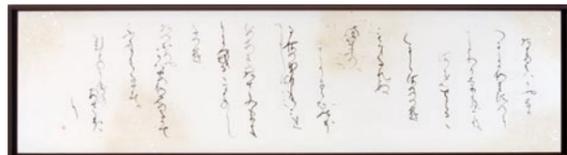
▲洋画・市長賞

「虚空07」塚本和美

▲書道・大賞「李白詩」江崎公徳



▲書道・市長賞「新古今和歌集一秋の歌」草場八重子



《日本画部門》▽大賞 永尾義武(佐賀市)▽柳川市長賞 近藤桂子(久留米市)▽柳川市教育委員会賞 野田幸枝(大牟田市)▽柳川市文化協会賞 龍典子(佐賀市)▽福岡県美術協会賞 杉野扶美代(みやま市)▽奨励賞 井上秀廣(荒尾市)、金子一博(西蒲池)、嶽本二天(大牟田市)、桑野禎子(大牟田市)

《洋画部門》▽大賞 渡邊満(菊池市)▽柳川市長賞 塚本和美(大牟田市)▽柳川市教育委員会賞 古賀義幸(大川市)▽柳川市文化協会賞 山下浩司(熊本市)▽福岡県美術協会賞 杉本多鶴子(玉名市)▽奨励賞 古賀吉美(三養基郡基山町)、川口治彦(蒲船

総合美術展に関する問い合わせは、市生涯学習課(三橋庁舎) ☎73・8111 内線2222まで。